

小規模多機能型居宅介護サービス評価

2023年度

NPO法人 宅老所 心
小規模多機能型居宅介護事業所ころね

- ・事業所自己評価
- ・小規模多機能型居宅介護「サービス評価」
総括表



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		9	3		12

前回の改善計画	
・できる限り本人、家族の思いを聞き記録に残す。その中からミーティング等で支援の在り方を話しスタッフが共有する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
ケア記録に残すことができなかった。コロナ禍でミーティングの頻度が少なくなったため書面での共有になった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	3		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	2		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 声かけ、気遣い。ミーティングに参加できない時は書面で共有。新規開始時は情報提供があるので全体像が把握できている。不安なことがないか安心してもらえるように声かけ。慣れていない時は笑顔で話しやすい雰囲気心がけている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新規時は家族、介護者の背景が把握できていない。 本人の思いを記録に残しているが、そこからの関りの持ち方が考えられていない。 コロナ禍でミーティングの頻度が少なくなった。 利用者の送迎時間によりスタッフが出たしまい朝礼ができない日が度々ある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新規利用開始時前のミーティングで本人情報以外に家族関係などを聞き情報共有できるようにする
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		3	6	3	12

前回の改善計画

・コロナ状況にもよるが利用者全員分のサポートプランを話し合える時間をもつ。計画する。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナ禍でミーティングの開催頻度が少なかった。サポートプランを話し合う時間がもてなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	8		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	7		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	7		13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	10	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
アセスメント時本人の生活歴や何気ない言葉や態度から思いをくみ取りプランを立案できるようにしている。
直接目標 (～したい) を聞き実践する機会があった (ウオーキング レク)
訪問時に思いを聞きとることができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ミーティングの時間がとれなかった。
全利用者の目標が把握できていない
訪問時、入浴時はゆっくり関りがもてるが、そうでない方とはゆっくりと関われない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
意思表示が少ない方、自己決定が困難な方との積極的な関りをもち、知りえた情報をミーティング等を通して共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

3. 日常生活の支援

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			10	2	12

前回の改善計画	・コロナ状況にもよるがスタッフが共通認識できるように利用者全員分のサポートプランを話し合える時間をもつ。計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍でミーティングの開催頻度が少なかった。サポートプランを話し合う時間がもてなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	7	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	2		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	7	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	2		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 気持ちや体調変化に気付けるよう声かけしている。変化に気づいた時は他スタッフと共有している。 食事 入浴介助等その方の持っている能力を活かせる考えながら援助している。 会議ができなかった分業務日誌やケースで共有するようにした
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 気づきを記録に残せていない サポートプランの開示はあるがそれについて協議できていない ケース記録等 記録では伝わらないことがある 全利用者の声にならないことの言語化はできていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 特に自らの声を発信できない利用者に関りをもちミーティング等で共有していく
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		2	9	1	12

前回の改善計画
・地域資源の活用が必要な方についてサポートプランを通して話し合う時間に理解する。
・今後 地域資源の活用が必要な方について考える。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍でミーティングの開催が少なくなりサポートプランの話し合いがもてなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	7		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	3		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	5	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	9		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族に出会えた際は自宅での様子を聞くようにしている
山田学区における利用者については地域資源の活用、連携がスムーズに行えた
自宅での生活様式は把握できている
訪問時に家族に本人の話をするように心がけている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の把握ができていない
山田学区以外については関りがやや薄い
民生委員まではわからない
本人に必要な地域資源を把握できていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
どのような地域資源があるか話し合い、利用者に必要なことを話し合う

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	7	1	12

前回の改善計画
 ・地域資源の活用が必要な方についてサポートプランを通して話し合う時間に理解する。
 ・今後 地域資源の活用が必要な方について考える。

前回の改善計画に対する取組み結果
 コロナ禍でミーティングの開催が少なくなりサポートプランの話し合いがもてなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	2	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	3	3	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	9	2		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	2		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 訪問時の本人の変化に気づいて時は対応できた
 日々の関りから本人の変化に気づき朝礼や記録で共有できた
 気づいたことは業務日誌やケースに記入し共有できるようにしている
 急遽の宿泊対応、通所日数の変更などきめ細かい対応ができている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域資源を考えて業務できていない
 コロナ前は絵手紙や歌のボランティアに来てもらっていたができなくなった
 地域資源(体操等)がコロナ化で行けなかった
 サポートプランの検討の機会がもてなかった
 家族の宿泊の希望が人員不足により沿えないケースもあった

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 コロナが治まり次第、ボランティアの受け入れ、地域活動に参加する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

6. 連携・協働

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		7	4	1	12

前回の改善計画	・コロナ禍でもできること（こころね昼市）を企画運営する。
前回の改善計画に対する取組み結果	昼市を開催した。昨年度よりも出品者、来客者も増えた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	7	2	3	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	5	1	2	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	8	2	1	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	8	2		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること スタッフが力を合わせて昼市の開催ができた カフェが定期的開催できた 地域の方が訪れてもらえる催しものができた 地域清掃行事の参加
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍により地域イベントの参加ができていない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域イベントが再開できれば積極的に参加する
---------------	-----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

7. 運営

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3		6	3	12

前回の改善計画	・コロナウイルスが落ち着けば「運営推進会議」にて地域、家族から直接意見を聞き対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍により「運営推進会議」の開催ができなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	6	5	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	2		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	4	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	5	5	1	13u

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 訪問時など家族や利用者からの意見や苦情があれば都度報告できている 朝礼、業務日誌で共有できている 利用者の散髪同行（町内）や配布物持参時に地域の方の話を聞くことができた
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 全ての利用者、家族の意見は聞けていない 運営推進会議が開催できず直接意見が聞けない 地域の中での活動（体操、喜楽会など）が中止になっていたため参加する場がなかった
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コロナが治まり地域行事が再開されれば参加し交流の場をつくる
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年2月

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		2	4	6	12

前回の改善計画	・コロナ禍でも受講できる研修（リモート等）に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	数人の方には研修に参加してもらったが全体的には少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		3	3	7	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	9	13
③	地域連絡会に参加していますか		3	1	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8	2	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事故報告書、ヒヤリハットなどで確認している 朝礼などで周知している 草津市ケアマネ連絡会、松原ケアマネ勉強会に参加 支援内での不安、疑問に感じたことはその都度教えてもらってる 自己で本を読んだりした
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍で毎月の勉強会や研修がもてなかった 同じ内容のヒヤリが続くことがある 研修に参加できなかった スキルアップの為の研修に参加できなかった
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 必要な研修に参加できるようにする。 コロナが治まれば勉強会などスキルアップの場をもつ
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023月

9. 人権・プライバシー

メンバー 山中 畑佐 末谷 伊勢 入本 丸山 橋内 多田 太田 山本 岩井 鈴木 松谷 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	6	2	2	12

前回の改善計画	・訪問時のプライバシーについて考える時間をもつ
前回の改善計画に対する取組み結果	全員で集まって検討する時間はもてなかったが各自考えながら行動できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13
②	虐待は行われていない	11	2			13
③	プライバシーが守られている	2	11			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	6	3	1	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	8	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待は行われていない 訪問時 家族の言動でおかしいと思う時は報告している 事業所で知れた情報は口外しない 個人を尊重し利用者の状況や変化などスタッフ間で共有し、質の向上、知識の向上に努めている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
入浴介助時に業務を優先しバスタオルをかけたりに配慮が足りない時があった 「ちょっとまって」など知らずにスピーチロックをしていることがある 情報が書いてあるメモを机に置きっぱなしのときがある 利用者の前で記録をしている時がある トイレでのひざ掛けが廃止になった (コロナのため) 聞こえにくいので、トイレ誘導時など周りに聞こえる大きな声で話してしまった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
普段の話方 スピーチロックをしていないかに気を付ける	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO法人 宅老所 心	代表者	村田 美穂子	法人・ 事業所 の特徴	利用者と地域の方がふれあいを持てるように、また地域の方に事業所のことを知っていただくために「昼市」を行っている。 また、日曜日には「かふえ」を行い地域の方の憩いの場になっている。 スタッフがオリジナルゲームを考え利用者と一緒に楽しんでいる、笑顔が絶えない事業所です。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所こころね	管理者	山中 一矢		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・引き続き全員で取り組む	全員で取り組めた。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・引き続き全員で取り組む
B. 事業所のしつらえ・環境	・コロナがおさまれば、掲示板を活かし、便りやPR事項を掲示する	掲示板で昼市開催のお知らせ、行事など活用することができた。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	掲示板で催し物開催のお知らせを行い、事業所に来ていただく機会をつくる
C. 事業所と地域のかかわり	・昼市のようなコロナ禍でもできることを検討する。	昼市、さんで一かふえでは出品者増、参加者増になった。さんで一かふえも定期開催でき新しいお客さんもこられた。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	昼市（野菜市）だけでなくマルシェ風にいろいろな方にも参加していただく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・コロナがおさまれば、「100才体操」「喜楽会」に利用者と一緒に参加する	コロナ禍のため参加せず。現在、休止中。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・コロナがおさまれば、「100才体操」「喜楽会」に利用者と一緒に参加する
E. 運営推進会議を活かした取組み	・コロナがおさまれば、地域福祉連携会議（運営推進会議）で、地域の困っていることを課題にあげ、出席者で共有する。	地域福祉連携会議はコロナ禍のため書類のみの開催となった為、直接意見等を聞ける機会ができなかった。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・コロナがおさまれば、地域福祉連携会議（運営推進会議）で、地域の困っていることを課題にあげ、出席者で共有する。
F. 事業所の防災・災害対策	・一人暮らしの方の一時避難場所の確認と把握をする。	山田学区内は確認ができたが、学区外の確認ができなかった。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	要配慮者利用施設における避難確保計画を実施する